

この本、いいよ！ vol.2



～国語科 3-2 副担任～

渡邊理恵子先生



『高校古文 こういう話』

『高校古文 もっとこういう話』

『高校古文 まだまだこういう話』

『高校古文 じっくりこういう話』



910/シ

柴田純子／著 ケイエスティプロダクション

こんな時期（実に変な時期です・・・）なので「今まで時間がなくてできなかったこと」ができるといいなあ。それが学校再開後に役立つことだったらもったいない。そう考えて『高校古文 こういう話』シリーズを紹介します。ちょっと時間のできた休校中、高校生向けの本ではあるが先生である私も垣間見てみようと思って、東高図書館から借りて読みました。古文の世界と現代の私たちの世界のギャップをふまえつつ、かゆいところに手が届くイラスト。取り上げられているのは教科書に載っている話ばかり。そうか、あの話はこういうことだったのか！と思えると興味もわくのでは？理系だから古文あんまり関係ないし、という人にこそ読んでほしい。古文を楽しくやっつけよう。

“笑い”の効用

(*´艸`)(*^▽^*)(^-^)(*´▽´)

コロナ関連の新聞記事の中で、免疫力をつける具体的方法の一つとして「笑う」ことがあげられていました。笑うことで免疫力が上がるというのはよく言われますよね。そこで今回は「笑い」についての本を紹介します。

- ① 『笑いの解剖』Q & A方式で「笑い」について解説しています。内容は幅広く、「笑い」の研究の歴史から現代のお笑いまで。それによると「笑いは不自然さを解消するために起き、それにより心が解放される」のだそうですよ。
- ② 『笑いとお癒力』実際に笑いによって膠原病と心筋梗塞を克服したジャーナリスト、ノーマン・カズンズ氏の闘病記です。
- ③ 『パッチ・アダムスと夢の病院』映画にもなった医師の著書です。ユーモアが患者にもたらす効果を書いています。



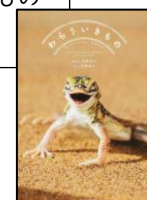
① 141/ナ

② 498/カ

③ 498/ア

これも！

わらういきもの 748/ア



おまけ

【上毛新聞 4月20日】

野村萬斎さんがYouTubeで“狂言における笑いの型”を解説してくれています。「笑った表情を作る」だけで脳が「笑った＝楽しい」と勘違いしてくれるとモノノホンで読んだことがあるのを思い出しました。

笑いの型を萬斎に学んでみようではありませんか！
動画の最後は「どれだけ笑い続けられるか挑戦！」です。
さあ、Let's try！
見ているだけでも自然と笑ってしまいますよ(*^▽^*)

